

福 議 委 号
平成29年11月24日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

経済福祉常任委員会
委員長 熊 野 茂 夫

所管事務調査報告書の提出について

本委員会は、福島町議会定例会9月会議（平成29年9月15日）において決定した、休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第147条の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

調査事件	6 第5次福島町総合計画等の変更について
調査期間	平成29年11月9日（1日間）
出席委員	委員長 熊 野 茂 夫 副委員長 花 田 勇 委 員 杉 村 志 朗 委 員 平 沼 昌 平 委 員 平 野 隆 雄 委 員 溝 部 幸 基
欠席委員	な し
委員外議員	な し
出席説明員	町 長 鳴 海 清 春 副 町 長 高 木 壽 総務課参事 小 鹿 一 彦 企 画 課 長 住 吉 英 之 企画課長補佐 村 田 洋 臣 産 業 課 長 川 合 力 哉 産業課参事（水産） 寺 谷 志 保 産 業 課 参 事（農林） 花 田 雅 昭 建設課長 木 村 文 年 福 祉 課 長 石 岡 大 志 町民課長 小 鹿 浩 二 認 定 こ ど も 園 福 島 保 育 所 園 長 金 澤 峰 子
議会事務局職員	事務局長 阿 部 憲 一 次 長 鍋 谷 浩 行 主 査 谷 藤 悟

[委員会意見]

調査事件 6 第 5 次福島町総合計画等の変更について

(平成 29 年 11 月 9 日調査)

本調査は、町が行った第 5 次福島町総合計画「前期実施計画」の平成 29 年度ローリング作業に伴い、実施計画に変更が生じたことから、変更内容等を調査したものであり、その調査結果を以下のとおり報告する。

【論点とした調査項目】

1. 事業費等に変更が生じた事業について

(1) 新たな陸上養殖技術の開発による蝦夷アワビブランド化事業

同事業については、国の地方創生拠点整備交付金の事業採択のため早急に事業を進めなければならなかったことは理解するが、これまでの試験養殖事業の状況についての詳細な説明が無いことや、市場の状況や漁業者の声を聞く限り、慎重な対応が必要と感じている。

事業計画では平成 30 年にコスト検証を行うとあるが、本来、事業を推進するにあたっては、適宜、コストを計算し、試験事業の結果を検証したうえで事業推進の判断を行うものであり、これまでの試験事業の検証結果と想定される事業リスク、予定している販売価格や必要とされるコストの考え方について議会に資料を提示願いたい。

また、事業計画には平成 31 年にあらためて加工品開発とあるが、商品開発についてはこの事業をスタートした時点から商工会等を中心に加工・試作を継続していたはずであり、新たな養殖施設に整備される加工設備の可能性に連動させる加工・商品開発については、間断なく平成 30 年度も続けていく必要があると思慮する。

(2) 町有林造成事業

森林組合の再建にかかわる事業費の積算内容等については、提示された資料の説明や積算根拠等の答弁では内容が理解できるものではなかった。町の委託事業と組合への支援事業は、適正な事業委託の在り方として分離すべきものであり、担当者の答弁からは積算内容に支援が含まれているような曖昧な印象を受けることから、より詳細な資料の提示が必要と思慮する。

(3) 地域おこし協力隊事業

これまでの事業内容を検証し、協力隊の受け入れを一旦止めるという町長

の考えは理解する。

町内のイベント等に従事する町職員や協力隊員は、イベントをこなすことで疲弊してしまい、新たなアイデアや、やりたいことを考える状況ではないように見えることから、協力隊を受け入れる環境作りをするためにも関係する観光協会等の体制整備、イベントの見直しも含めしっかり検証し対処されたい。

2. 新規に登載となった事業について

(1) 吉岡漁港トイレ整備事業

観光施設において、一番イメージを印象付けるのはトイレであり、既存トイレの改修整備と合わせて、日常の維持管理、特に観光シーズンの管理を適切に行うよう注意されたい。

なお、整備される伊能忠敬公園とは距離があることから、利便性を考え案内看板等の設置を検討されたい。

(2) 福島町水道事業変更認可策定事業

今回示された水道事業の上水道から簡易水道へという方向性については理解する。詳細については今後委員会等で明らかにされるが、関係資料については出来次第、議会に提示されたい。

(3) 福島町現況図デジタル化整備事業

現況図のデジタル化については、防災など様々な分野で活用できるとの説明であり、早期に整備し有効活用されることを期待する。

(4) 合葬式墓地整備事業

合葬式墓地は、これから必要となる施設であり、整備にあたっては利用される方々の思いを受け止められるよう工夫・検討し、整備後の維持管理を考慮し、整備に見合う適正な料金設定を検討されたい。

3. 全体意見

本委員会の資料では、計画が変更・新規登載されるに至った経緯についての明確な説明が不足していることから、議論する前の確認に時間が割かれるため非効率である。今後、資料の作成、説明にあたっては計画変更に到った経緯を示すよう検討すべきことを指摘する。